

顕微鏡画像を用いた 再生医療用細胞の品質評価技術



講師：清田 泰次郎

株式会社ニコン

ヘルスケア事業部技術統括部

STEMセル事業開発部 部長

座長：坂井田 功

山口大学 大学院医学系研究科

消化器内科学 教授

入場無料
定員50名

講師の御紹介

1989年 早稲田大学工学部応用物理学卒業

1989年 株式会社ニコン入社

2006年 芝浦工業大学専門職大学院修了

2018年 現職

1989年株式会社ニコン入社、赤外線カメラのシステム設計に約15年従事、ニコンの米国研究所勤務も経験。2003年から細胞培養関連業務へ移り、2006年に販売を開始した。

細胞培養観察装置(BioStation CT)の開発に従事。培養細胞の客観的な評価手法の開発のため、パターン認識技術と機械学習機能を併せ持つ画像解析ソフトの開発も行う。

近年は、再生医療の産業化にとって重要な要素である細胞培養の工程に於ける細胞製造の安定性や均質性を担保する評価手法の開発を手掛け、2011年からiPS細胞の評価技術の開発に関する国家プロジェクトに参画。

本講演では顕微鏡画像を用いた細胞の品質評価技術など、これまでの取組みについて概説する。

<問い合わせ・参加申し込み先>

山口大学医学部内 参加者申込み

⇒消化器内科学 高見 太郎 (0836-22-2241)

一般参加者 申込み

⇒メディバイオ事業研究会(代表 木村洋介)

medi-bio@mcc.city.ube.yamaguchi.jp

2018年7月17日(火)

19:00～20:30

宇部市メディカル
クリエイティブセンター
(MCC) 1F 大会議室

〒755-0068 宇部市東小串一丁目1番36号

TEL 0836-35-0070



※車でお越しの方は隣接する大学病院駐車場をご利用ください
利用料金が8時間まで200円かかります

共催：山口大学 大学院医学系研究科 消化器内科